

各大学では一般情報教育をどのように企画、
実施、コーディネートしているのか？

パネル討論

パネリスト

山口 泰 (東京大学)
布施 泉 (北海道大学)
高橋 尚子 (國學院大学)
辰己 丈夫 (放送大学)

情報教育環境の項目について紹介していただき、パネルディスカッションをします。

情報教育環境の項目

1. 一般情報教育の概要（対象人数、クラス数、科目名等）
2. 一般情報教育における教職員の構成概要
 - ・常勤（情報の専門・非専門）、非常勤
 - ・教員と職員の関係
 - ・教員の確保（教員の選定、非常勤の手配（依頼）方法）
3. 情報教室環境
 - ・情報教室の設備決定
 - ・PCの選定、ネットワーク、机の配置、入れ替えなど
 - ・インストールソフトとその決定プロセス
 - ・運用、サポート体制

情報教育環境の項目

4. 一般情報教育のカリキュラム全体の決定・運用
 - ・どのように全体のカリキュラムの方針や調整を行っているか
 - ・委員会組織やその権限等
5. 教育内容・教材決定について
 - ・共通教科書、共通試験などがあるのか
 - ・シラバスが予め決まっているのか
 - ・どこまでが教員裁量なのか
6. 各担当教員の教育方針の共有方法
 - ・常勤や非常勤の意思疎通機会など
7. 現体制のメリット、デメリット
8. 今後の方針

一般情報教育の現状について

帝京大学八王子キャンパス

大学概要

- 帝京大学八王子キャンパス
 - 文系学部のみのキャンパス
 - 経済学部、法学部、文学部、外国語学部、教育学部
 - 医療技術学部(スポーツ医療学科のみ)
 - (帝京大学短期大学)

教育学部	1,326
文学部	2,945
スポーツ医療	1,595

2018年度在校生数(人)

一般情報教育の概要(対象人数、クラス数、科目名等)

- 必修科目なし
- 一般情報教育(総合科目、自己啓発科目)
 - 情報リテラシー I・II、情報処理 I・II・III・IV、社会と情報技術 I・II (PC教室50名まで受講可能)
 - 担当教員
 - センター系教員(非情報専門も含む)、非常勤10名
- その他科目(学部、教職)
 - 情報技術概論 I・II、情報処理演習 I、情報処理演習 II、情報ネットワーク I・II、情報と職業(経営学科)
 - 情報の社会史(社会学科)、心理学情報処理演習 I・II(心理学科)
 - 情報リテラシーの育成と教育情報の活用・管理(教職大学院)
 - 情報システム論特講(経済学科)情報処理演習 I(人文学学科)
- キャリア
 - 司書、教職系

必修がないため、一般情報教育以外でも学部などにOffice系の授業が多く存在する

一般情報教育における教職員の構成概要

- 常勤(情報の専門・非専門)
 - 一般情報教育の専門家としての採用はほぼない(学部情報系)
 - 情報に詳しいであろう先生(教育工学系等)に教務が依頼
- 非常勤
 - 非常勤は10名、主に情報リテラシーや情報処理 I などの入門科目を担当
- TA
 - なし
- 教員と職員の関係
 - 連携なし
- 教員の確保(教員の選定、非常勤の手配(依頼)方法)
 - 教務課の職員が教員の割り振りを行う

情報教室環境

- 情報教室の設備決定
 - 情報処理センターが主導
 - センター長は兼任教員
 - 職員3名
 - インストールソフトとその決定プロセス
 - 年一回の調査
 - 入れ替え等のアナウンスが不足
 - サポート体制(教員対応、学生対応(外部))
- LMS
 - LT開発室(宇都宮キャンパス)が管理
 - 教員、職員の共同組織
- 自習用のPC
 - メディアライブラリーセンター

一般情報教育のカリキュラム全体の決定・運用

- 情報教育検討委員会(6名)
 - 情報リテラシーの教科書を作成
- 非常勤等の連携なし
- 全体の教科やカリキュラムなどの調整、方向性など不明
 - ほぼ教務が主導

教育内容・教材決定 学生のキャリア支援(資格対策等)

- 情報リテラシーは共通教科書を使用している。
 - 教え方等の細かい指定はない
 - ほぼ非常勤が担当
- そのほかの科目
 - 教務課に前任者のシラバス等で教える内容が教えられる程度
 - 教員の裁量に任せられている。
- キャリア支援の情報科目
 - 教職、司書

各担当教員の教育方針の共有方法

- 情報教育検討委員会(6名)が点検的に開かれる(年2回程度)
- 職員、非常勤等の連携なし

現体制のメリット、デメリット、今後の方針

- メリット
 - 教務課依存、教員の裁量が大きく比較的自由
- 課題
 - 教務課依存(前例主義)
 - 教員による意思疎通やビジョン共有が希薄
 - 一般情報教育の内容と学部の情報教育が被る
 - 必修科目がないため学部の情報リテラシーへの不安が起きている
- 今後の方針
 - 教員同士の連携やキャンパス内の情報教育の整理